

# 市政を問う

## 市民の声を！



今回は17名の議員が質問しました。(質問者順)

## 千歳漁港の整備と漁業の活性化について

白石昌利 議員

平産業建設部長

神崎市水産業の活性化を図る為、漁港の整備は不可欠である。



議員 今だ未整備の千歳漁港の整備が整い、漁業が活性化

すれば千代田東部地区の活性化に繋がる。

又、経済効果も生まれ地域が発展し、定住する人達も増えるなど大きな連鎖現象となる。

是非、千歳漁港の整備、漁業の発展には力を入れ、その為には市職員も漁港に何度も足を運び漁港の整備状況や、漁業従事者の意見、要望を聞き積極的な取組みをして頂きたい。



堤防のかさ上げを急ぐ。(下直鳥しらさぎ団地付近)

産業建設部長 護岸工事については国の予算がつき次第の話があり、できる部分については市も積極的な要望を行い、一つでも多くの実現ができるような取組みを進めていきたい。

議員 漁港整備の問題は、神崎市全体のまちづくりで考えるべきで、市民も活用する市民の港として漁港整備については、漁業に従事する受益者負担にならないような整備計画を検討して頂きたい。

### 城原川の整備について

議員 城原川下流の下直鳥地区のしらさぎ団地付近は、堤防が部分的に低くなっている為、大雨の際に洪水被害の危

険があり大変怖い思いをしている。地区からの要望である堤防のかさ上げを早く対応して頂きたい。

産業建設部長 下直鳥地区から市と国に対する堤防かさ上げの要望書を頂いている。城原川の河川整備については、整備促進を国に働きかけたい。

### 通学路の安全対策

議員 千代田中部地区嘉納バス停東側の通学路において児童が北側農地へ転落する事案が後を絶たず危険な状況である。

市は安全対策をしっかりと実施して頂きたい。

産業建設部長 児童の安全確保を図る観点から、転落防止柵等の設置整備促進について、神崎土木事務所に要望を重ねていく。

### 地元企業の活性化について

議員 経済情勢の見通しが立たない今、神崎市の経済や市民の雇用を多く抱える地元企業を、育成及び雇用安定の観点から市は、活性化対策を明確にして実行することが必要である。

# 激減する菱対策について

原 口 ひさよ 議員

**平産業建設部長**

市の特産品である為、市内でプロジェクトチームを立ち上げた。



**議員** 千代田町の秋の風物詩、菱の実取りが毎年九月から十月下旬にかけて行われている。この時期になると取材陣が訪れ、下直鳥地区に活気が見られる。しかし昨年より、菱の繁殖に異常が見られ収穫量も例年の十分の一であった。菱が激減した原因はなにか。

**産業建設部長**

昨年春から直鳥地区を中心に異常繁殖している浮き草(雑種アゾラ)、菱の実につく害虫、カメ、ジャンボタニシによる被害と言われるが、具体的な原因はわかっていない。

**議員** 雑種アゾラは鳥によって繁殖すると言われるが、除去作業等の検討はされるのか。

**産業建設部長**

各集落で農地・水環境向上対策事業で行ったり、土地改良区の県の事業で取り組んでいる。今年については国の交付金を活用して水草対策を実施した。水辺環境の浄化、美化を図って行く中ではいろいろな事業を活用しながら対策を講じて行く。



菱の実取りの様子

**議員** 今後の菱対策をどう考えるのか。

**産業建設部長**

菱は神崎市の特産品である為、庁内でもプロジェクトチームを立ち上げている。特に菱を栽培されている方たちとの意見交換や、専門の先生、三神普及センター等とも協議しながら検討していく。

**議員** クリークの水が殆ど循環することなく、生活雑排水等の排出により環境悪化が考えられるが希釈水を取り込み、クリークの水が循環するような環境対策も必要ではないか。

**産業建設部長** 水環境については、市民全体としての意識の啓発、庁内全部含めた中での環境意識の高揚等を図って行く必要があると思う。

**市長** 菱は千代田町時代から非常に大切にされたものであり、その気持ちを継承し、産業活性化につなげたいと思う。

## その他の質問

- ・災害時の情報収集 指示系統 連携について
- ・要援護者の避難状況
- ・ジャンボタニシの駆除対策について
- ・火葬場建設についての市の方向性



菱の実

# 長崎新幹線計画で西郷校区上六丁の踏切が最も危険だ。改良計画は

内田 良 治 議員

貞島建設課長

今議会に歩道分離の拡幅予算を提案している。



通学路について

議員 国道34号線南の本告牟田、山田、池辺田の通学道路も危険。道路拡幅と、転落防止柵を設置できないのか。

建設課長 地元区長さん、地権者と協議したい。

西郷保育園建設について

議員 西郷保育園の建設場所は6月議会では2ヶ所を検討中との答弁であったがその後どう進捗したのか。

野口福祉事務所長 場所選定には基本設計を利用できること、小学校と保育園の連携がとれること、既設保育園敷地を利用できること、駐車場を小学校と併用できることや、保護者のアンケートでも西郷小学校付近での改築要望が多かったことから、現在の場所を選定した。

議員 園児の安全性や保育園境を十分考えたすばらしい西郷保育園の一日も早い完成を



急がれる上六丁の踏切改良

希望する。

7月豪雨対策

議員 先般の大雨で中池江川も、消防団、姉川地区、上六丁、下六丁、戸井土の各区長さんを先頭に地域住民の方々、市長を始め市役所の職員各位の命をかけた努力により、越水はしたものの堤防決壊は免れた。今後、姉川橋から上流の改修計画は。

建設課長 絶滅危惧のオグラコホネの保護等を含めて河川断面が大きく変わる。従来は巾31m、

深さ4・5mが今回姉川橋から上流は幅45m、深さ3mに見直し計画となっている。

議員 今回城原川も決壊の危険もあったし、新村、新陽団地西が漏水がひどかった。他にも利田等の危険箇所があり、早急な安全対策を望む。

建設課長 本格復旧工事を早急に御願している。

議員 政権が変わり筑後川水系の河川整備計画についての市長の考えは。

市長 政権が変わっても神崎市民の安全、安心を確保する為に、今までどおり御願いしていく。



道路拡張をして安全な通学路に。(本告牟田の通学路)

# 豪雨による災害復旧対策及び生活道路の確保はどう考えているか

廣 瀧 恒 明 議員

**市長** 地元の人達の生命、財産を守るため、道路確保について、強く国・県に求めていく。



**議員** 脊振町、神埼町、千代田町の豪雨被害の状況は。

**平産業建設部長** 去る7月24日から26日にかけての豪雨による被害は脊振町では農地関係314ヶ所、農道水路等248ヶ所、神埼町では農地36ヶ所、水路農道57ヶ所の合計655ヶ所、林道施設被害、脊振25路線74ヶ所、神埼1路線5ヶ所、農林地崩壊、

脊振6ヶ所、神埼1ヶ所、公共土木災害、脊振41ヶ所、神埼21ヶ所、千代田1ヶ所、又農作物被害については、水田浸水116ha、冠水被害552haとなっている。

**議員** 復旧体制作り及び災害復旧への期間は、どれくらい予定しているか。

**産業建設部長** 現在26人体制で業務を行なっている。災害個所が800ヶ所を超えており、今年度内の復旧完了は難しい、22年度中には復旧が完了するものと思っっている。

**議員** 市道政所・倉谷線の改良の必要性についてどう考え



豪雨による路肩崩壊 (脊振町倉谷)

ているか。

**産業建設部長** 今回の災害で県道三瀬〜神埼線が運行機能を失ったため緊急時に活用した、しかし、道路幅員が狭い上、交通量が多く不備をきたした。今後は拡幅工事を含め道路整備を行ないたいと考えている。

## 新型インフルエンザ対策はどうなっているか

**議員** 基礎疾患のある人、妊娠中の女性、乳幼児などの把握、早期受診治療対策は。

**牟田市民福祉部長** それぞれの人について、来庁時、妊婦届時健康教室において新型インフルエンザばかりでなく、異変がある場合、早期受診、早期治療をされるように指導している。

**議員** 新型ワクチンの公費助成及び収入によってワクチン接種の機会格差が生じないよう、又肺炎球菌ワクチンの助成は。

**市民福祉部長** 新型インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの助成については、今後県や近隣市町の動向を見て検討していく。又、格差については公平性を確保していく。

## その他の質問

- ・職員（管理職）の研修はどうしているか。
- ・休暇の計画的使用及び超過勤務の適正化指導
- ・不要不急事務の削減
- ・農業・林業・土木技術者の育成は
- ・災害復旧費の個人負担は



豪雨による農道崩壊 (脊振町東鹿路)

# 筑後川運動公園の簡易トイレ に利用者は満足しているか

野口英樹議員

**市長**

現在のトイレについては、余りいい気持ちはしない。堤防の外側での設置について検討してみたい。

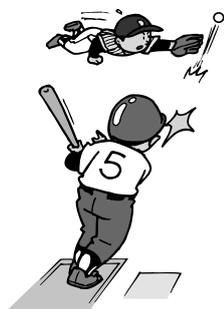


**平産業建設部長**

筑後川運動公園は、河川管理者である国土交通省から占用許可をいただいで利用されている。公園のトイレは4ヶ所あり、河川法上の規制によって洪水時には撤去できる構造が必要であるため、移動式の簡易トイレを設置している。

維持管理については、定期的なトイレ清掃やくみ取りを行っている。

議員 筑後川運動公園の利用状況については、年間約一万二千人の利用者がいる。特に少年野球の練習試合、公式試合等で非常に良いグラウンドだと評判を得ている。しかし、現在設置されている簡易トイレに利用者は満足されているのか。



望まれる、簡易トイレ整備（筑後川運動公園）

## 千代田グラウンドの整備について

議員 千代田グラウンドバックネット裏の応援席に日よけのテラスを設置できないのか。

**教育部長**

応援席と城原川の堤防が非常に隣接している。テラスを設置する場合、河川管理者や地権者と協議する必要がある。ほかのグラウンドと整合性を図りながら、総合的に考えていきたい。

望まれる、応援席の日よけテラス設置（千代田グラウンド）



望まれる、応援席の日よけテラス設置（千代田グラウンド）

## ジャンボタニシの駆除について

議員 防除剤（スクミノン）利用者に対して市の助成はできないのか。

**産業建設部長**

ジャンボタニシの被害対策は、農家にとって共通の課題となっている。その対策については、市の水田農業推進協議会などで十分議論を深めて対応を検討していきたい。

望まれる、ジャンボタニシの駆除について

# 土地改良施行地区の災害認定 はできないか

永沼 彰 議員

平産業建設部長 維持管理の不備の場合は欠格になる。



議員 水路の現状は地層が縦層であり、大雨後の水量の變化で崩落が多発している。自然災害といえる。積極的に申請はできないか。

産業建設部長 国の考え方に基づいた中での判断をして行く必要があり、今回申請をしていない状況である。

議員 過去平坦部の圃場整備地区においても災害復旧が可能だった。近年災害復旧の申請がされていないが執行部の考えは。

産業建設部長 災害復旧の採択については、維持管理の不備により生じたと認められる場合は申請しても欠格になる。



多発している法落ち (千代田町)

牟田市民福祉部長 国の政策転換により交付金の取り扱いが変り、現在では農業収入の中の雑収入扱いでこれは国税庁の通達によるものである。

議員 一時所得、雑収入の違いで市民税等にもどのような影響するか明らかにし、税の軽減につなげてほしい。

## 福祉行政について

議員 デイサービス施設「老人憩の家」の2階部分の空調設備について検討されているか。

野口福祉事務所長 「老人憩の家」は建築後37年が経過し、老朽化が著しい状況である。具体的には雨漏り、天井壁等の改修、又キューピクル等の機械室、電気設備の改修など多くの課題があり、まず建物自体の耐久性診断業務を委託してある。その調査結果を参考に今後改修、改築又新築の必要があるか総合的に検討したい。

## その他の質問

- ・健康づくり計画と特定健診受診率について
- ・農振除外の許可の状況について
- ・学校給食の地産地消について



デイサービス施設「老人憩の家」  
(神埼町仁比山)

# 中国、九州北部豪雨の教訓を今後の対策対応へいかに活かすか

山田 一明 議員

平山 総務企画部長

幾多の見直す課題が出て来た。



議員 7月豪雨に対する防災活動からの教訓と今後の対策について。

**総務企画部長** 今回の豪雨は予想を越えたものとなった。神崎市では初めてとなる避難勧告、避難指示を発令し、誰もが経験した事がない初めての活動をを行った。特に勧告等の伝達方法、避難経路、避難所の運営等幾多

の見直す課題が出てきた。市では作成しているハザードマップについては、国の浸水想定区域が変更されれば随時修正を行うが、現在各地区において作成されている防災マップは、今回の教訓を踏まえて再度点検し、一時避難所、避難経路等の確認をお願いしたい。

議員 新型インフルエンザについては世界保健機関（WHO）で警戒基準最高レベル6に上げて世界的流行を宣言している。市行政は十分な対策と対応を。

**牟田市民福祉部長** 現在、市の対応としては国、県の対応指針を参考に、随時市の対策会議等



神崎市の避難場所（神崎小学校）

の意見を踏まえ感染防止に努めている。小中学校の行動計画は、市の教育委員会により5月に策定された。県内外の発生状況等により、速やかに対応体制を構築するため、数回改定等を行い校内感染防止に万全を期している。

議員 ワクチン接種の公的助成は出来ないか。基礎疾患のある方、妊婦、子供へは。

**牟田市民福祉部長** ワクチン接種の負担は実費とすると、厚生労働省が発表、国の助成はない。市単独でやるとすれば対象者によつては多額となり、財源的にも非常に難しい。

議員 改正農地法の農業への影響は。

**久保田農業委員会事務局長** 今の農地法は農地は所有者が耕作する事が最も適当であるとしてきた制度を改め、食糧の安定供給確保の観点から農地の所有者と耕作者を分離し、貸しやすく借りやすく農地を最大限に利用。農業の効率化と農業生産の安定拡大に転換する法改正である。

## その他の質問

- ・ 避難所の食糧、常備薬、毛布等の備蓄について
- ・ 労働災害保障保険について
- ・ 農業後継者対策について



災害用備蓄毛布

# 中学3年生までの医療費無料 化実現を

福田 清道 議員

**市長** 国の制度として取り組むよう市長会などで発言している。



**議員** 全国の2割に当る自治体が、中学生までの医療費無料化を実施している。しかし、九州・沖縄8県は全国的にみて、この取り組みは遅れている。  
現在、就学前までの医療費無料化のための予算は、現在、一般会計総額の、約0・5%（約6,300万円）である。中学3年生までこれを実施し

た場合、約1・2%〜1・5%（約1億3,000万円）となる。不景気で親の収入が激減する中、住民のくらしを守る防波堤である自治体として、子どもの医療費を心配しないで済むよう、是非実現すべきである。これは市長が取り組むと決断すれば実現できることである。

**市長** この件については検討をし、どの程度予算が必要か、実態を検証して判断させていきたい。

**学校給食の充実と、給食費の軽減を求める**

各学校の給食費

	給食費 (月額)	給食費 (年額)
神崎中学校	牛乳代 940 給食費 4,000	54,340
神崎3小学校	牛乳代 650 給食費 3,600	46,750
千代田中学校	給食費 4,800 (牛乳代含)	52,800
千代田3小学校	給食費 4,200 (牛乳代含)	46,200
脊振中学校	給食費 4,400 (牛乳代含)	48,400
脊振小学校	給食費 3,800 (牛乳代含)	41,800

**議員** 親の収入が激減するなか、教育費の負担が重くのかかかってきている。特に給食費について、保護者負担を軽くするため、特に主食の米の原材料費を市の予算で負担できないか。

**市長** 予算全体の枠を見ながら検討していきたい。

**中山間地水田の維持管理のため、市独自の助成制度制定について**

**議員** 中山間地域の水田や畑は、平野部のそれとは違い法面の維持管理が大変である。この管理を良くしておかないと崩壊など、災害の元となる。また中山間部の水田は下流域

の住民の安心安全を守るためのダム機能を持っている。国の中山間地域助成制度は確かにあるが、市としても独自の助成制度を設けるべきである。

**市長** 中山間地水田等の法面の草刈りは大変であることは認識しているが、その地域だけ助成することは考えていない。しかし山間部の治水対策は、林業と合わせながら考えていくことが必要であると考えている。

**議員** 市独自の環境維持のための助成制度は必要ではないか。

**市長** 検討する



棚田の法面 (脊振町)

# 地デジ放送完全移行への難視 地区対策は

内村夏生議員

高平市長公室長

受信点調査結果で、22年度中には対策を講じたい。



議員 地上デジタル放送への完全移行まで、2年を切った状況の中で、市としての対応はどう考えているのか。

平山総務企画部長 地デジ化は

国策で行われるもので、これに伴う市民の不利益は解消されなければならぬ。現在、再受信点調査を実施しており、その結

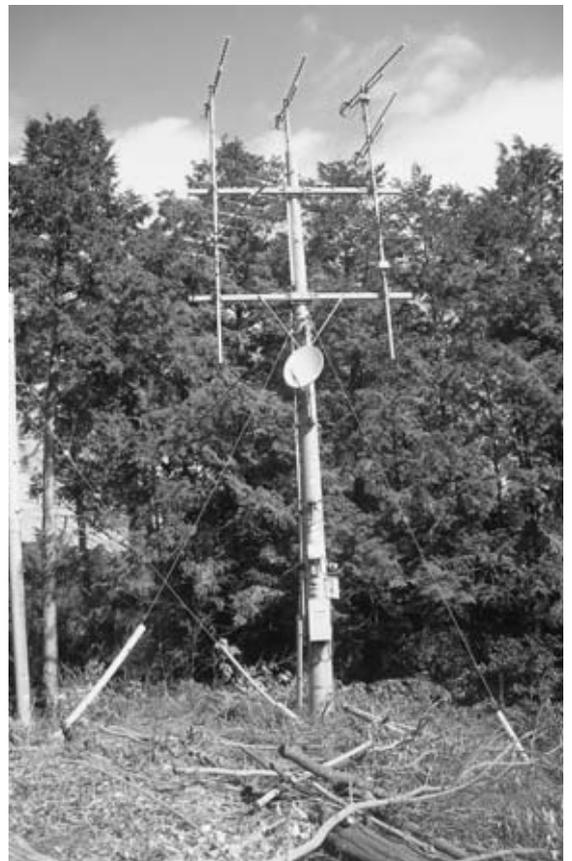
果を精査し、NHK・県内外民放を含め、これまで享受してきた放送については、引き続き享受できるように、デジタル放送への完全移行に備えたい。

議員 再受信点調査結果が何時でなのか、また整備についてはどう考えているのか。

市長公室長 NHKに依頼し実

施中で、すぐ結果がでると思っている。この整備については、国・県の補助対象となっており、これらを含めながら今後の対策を検討していく。

議員 総務省がまとめた、新たな地デジ難視地区の中で、



脊振町のテレビ共同受信施設

市内での該当地区は。また、その対策で国・県の補助事業計画が示されたが、難視地区すべてが該当するのか。

市長公室長 8月末の総務省の

発表では、仁比山地区と三谷中心の志波屋地区の2地区である。その対策である補助事業については、あくまで新設する自主共聴施設が対象で、脊振地区の共同受信施設は該当しない。共同受信施設での難視地区については、同じような補助対象を要望し、県でも検討されており対応できるように協議していく。

議員 脊振地区については、国・県の制度を活用した一体的な整備をすべきと思うが。

市長公室長 受信点調査を確認し、

早急に検討し方針を決め、22年度中には対策を講じたいと考えている。

## その他の質問

・今年度末までの期限となっている、過疎地域自立促進特別措置法及び中山間地域等直接支払制度の継続の取組みについて

# 高齢化に伴い介護者に対する市の対策は

野 副 芳 昭 議員

野口福祉事務所長

現行の支給で継続し、PRに努め、今後検討していく。



議員 全国的な少子高齢化に伴い神崎市も高齢化の加速が見込まれ、在宅介護が多くなるが市の対応は。

福祉事務所長 神崎市もここ3

〜4年で非常に高齢化が進み、高齢者対策事業として、平成21年3月に第2次高齢者保健福祉計画で推進を図り、介護保険の

事業は中部広域連合で運営し、市も単独で平成20年から高齢者の福祉事業の拡大を図る目的で介護手当を支給している。

議員 在宅で面倒を見ている家族に介護手当の支給はあるが、何人受給しているか。

福祉事務所長 現在、施設入所者は169名、待機者が207名で、寝たきり老人等介護手当支給者が28名である。

議員 支給人数が28名は、在宅介護を受けておられる数からして少ないように感じるが何か原因があるのではないか。

福祉事務所長 28人しか支給の

対象になっていないという事について高齢障害課の中でも、PR不足や恐らくこの制度をご存じない方もおられるのではないかと考え、市報や区長さん等を通じPRに努めていく。

議員 せっかく市の事業で施策をしているのでぜひ多くの方に活用していただき、本人も家族も安心して家庭生活が送れるよう援助してもらいたい。

## 中学校武道の必修化について

議員 神崎市に脊振、神崎、千代田と3つの中学校があるが、競技は何を考えているか。

中島教育部長 武道は剣道、柔道、相撲があり、一種目選択し実施する事になる。中学校に取り組みについて調査した結果、予定される種目は、3中学校とも剣道である。

議員 施設の対応は。

教育部長 神崎、千代田は武道場、脊振は体育館となっている

が、体育館は築後かなり経過し、耐震調査に該当しない程、老朽化し、3町の均衡性を踏まえ、脊振中学校にも武道場の建設が必要と感じ、今後は検討委員会を設置し、詳細に検討したいと思っている。

議員 指導者の対応は。

教育部長 年間の指導時間は8時間から10時間で、体育の時間で実施するので体育教師が当たる。

議員 用具の対応は

教育部長 各学校ともかなり整備は進んでいる。

議員 市長、ぜひ、文部科学省が推奨する日本の伝統文化である武道を行わせ、現代社会において青少年の犯罪や事件を少なくし、正しい心、相手を思う心、感謝の気持ちを養う教育である。素晴らしい環境の下で教育を受けさせてもらいたい。

市長 十分精査し進めたいと思う。



# 城原川の安全・安心対策について

片江 護 議員

**市長** 整備を急ぐよう再三要請している。



**議員** 7月25日、26日の大雨がもたらしたものは、神崎市民にはさまざまな教訓を与えてくれた。私は城原川の早急な河川整備の必要性を痛感したが。

**市長** 今日まで河川整備計画に基づくとこの整備を急ぐよう再三要請している所である。

**議員** 今回は、市内の中小の河川でも越流水があったが、特に大島江川の越流水は大変だったが、対策はどのように考えているか。

**平産業建設部長** みやき町との境にある県河川大島江川の越流水については、みやき町側の道路についてはカーブ区間になっており、片勾配による形状のため、路肩部にアスカーブが設置され越流対策が設置されている。神崎市側は今後、みやき町側と同様の高さまでの施設を計画するとともに、大島江川の河川整備を含めた越流水の防止対策をみやき町と連携を図りながら県へ要望していきたい。



豪雨による冠水状況（千代田町）

## 公共施設の利用

**議員** 市内には多くの施設がある、菱の里の施設の基本的な利用方法はどのように考えているか。



直島環濠集落の拠点「菱の里」

## その他の質問

- ・ 南部工業団地の進捗
- ・ 神崎市の農業像は

**産業建設部長** 県営地域用水環境整備事業の補完的な施設として整備されているが地元直島地域のみなさんを中心にも多くの皆さんに利用していただければ良いと思っています。利用については、市の産業建設のほうに申し込みしていただければ活用は可能となっている。

# 七月豪雨災害の教訓に学べ

原 信義 議員

## 平産業建設部長

早急な対応を国に強く要望し、住民への周知を図っていく。



議員 国の城原川整備計画には漏水対策が示されていないが…。

## 産業建設部長

危険築堤箇所などの早期対策と河川整備計画の早急な対応を国に強く要望していく。

議員 「避難所が遠すぎる」という声にどうこたえるか。避難所の学校にすぐ入れなかつ

たという事態も起きている。さらに神崎小学校は馬場川からの大量の流水により、陸の孤島と化し、避難所の役割を十分に果たすことができなかった。今後、どんな対策をとるのか。

## 平山総務企画部長

身近な避難所については、地区防災マップを毎年見直しながら住民への周知を図っていく。避難所の管理は、教育委員会、各課と話し合い避難所運営マニュアルを策定して職員に周知を図っていきたい。神小については浸水しないよう整備していく。

## 議員

豪雨時には城原川と田手川の間で流水の融通を行い、洪水調整をする必要がある。

平産業建設部長 二つの河川間での排水調整は、極めて複雑な操作が必要となり、かなり難しい。

## ダム中心の整備計画を見直すべき

議員 7月26日に城原川は最大何トンの流水があったか。

## 貞島建設課長

7月24日から26日に総雨量611ミリ、最大時間雨量65ミリを記録。(これは28年当時とほぼ同じ量) 日出来橋地点で毎秒400〜450トンの流量を観測。

議員 国も市も城原川の流下能力は毎秒240トンと云うが、実際は450トン流れている。今回の降雨量が28年当時と同じなら城原川の流量も同程度と考えられ、28水害時の流量は450トン〜490トン。ダム建設の前提条件である690トンは崩れ、ダム建設の必要性はなくなる。

## 市長

28年当時は450トンぐらい流れたのかなと認識をしている。

議員 堤防をしつかりする計

画のない計画は欠陥整備計画だ。城原川の堤防はまともか。

貞島建設課長 3カ所の土質調査結果は、ほぼ砂質系の土質という報告。

議員 国土交通省は調査しておきながらなぜ、漏水対策を急がないのか。

市長 基本的に堤防はやり直してくれと要請していく。

議員 30年かけての河川整備からダム建設をはずし、10年程度で堤防強化、浚渫を行うよう、国に働きかけてほしい。



城原川堤防の崩壊 (小津ヶ里地区)

# 7月25日・26日豪雨について

志岐 悟 議員

**市長** ポンプの操作のあり方は協議して定めていきたい。



**議員** 国土交通省の城原川の河川管理を人為的に操作してなぜ流域住民を不安におとし入れるのか。市長は指導力がないので国土交通省や県はやりたい放題になった。つい先

日の7月25日・26日の豪雨の時のことだが、7月25日朝6時、城原川の水が増水して野越をこす寸前で、私は鶴西区長や住民数名と、鶴西の城原川へ

の排水施設を見に行った。案の定、城原川が増水して危険な状態の時、何でよその川水を入れるのかと強く抗議した。国土交通省の諸富出張所からと言った人が携帯で電話しポンプをすぐ止めると連絡があった。ポンプが止まり、10分後に水かさは見る見るうちに1m位下がり、皆が胸をなでおろした。私各排水機場のポンプ停止の基準を避難判断水位に落とすべきと思うが。

**市長** ポンプの稼働というものも、停止というのが避難して下さいという勧告を出したら、やっぱりその辺はポンプが回っていたらみんな住民感性はよろしくないと思う。ポンプを



城原川の排水施設（神埼町鶴西地区）

とめていただきたいという要請をやりながらいきたいと思う。ポンプが30分ほど止まらなかつたというのは現実である。今度はポンプの操作のあり方はもっと明確に協議して定めていきたい。

**議員** 西郷保育園建設について、平成19年度に建設するとなっていたが又、今回も21年度9月より本体工事するとなっているが。



待たれる西郷保育園建設

**野口福祉事務所長** 現在、今の保育園の北側の園庭等々を利用し最終的な詰めを行っている。  
**議員** 観光行政について、吉野ヶ里、九年庵、仁比山神社周辺城原川は見事な景観等は先人が残した超1級の観光地で自然があるが、又価値を再確認して活用すべきと思うが。

**羽立観光課長** 総合的にいろいろなアイデア等を出していきたいと考えている。

# 災害時の職員の時間外手当について

宮島 清 議員

平山総務企画部長 条件に基づき支給する。



**議員** 七月の豪雨時に召集された職員に対して時間外手当が補正予算に計上されたが当日は消防団を初め区長や関係する人達も万一の災害に備えて活動や対応をされている災害前の支給に市民の感情は得られるのか。

**総務企画部長** 命令による災害対策への従事であり条例に基づ

き支給するのでご理解いただきたい。

**議員** 災害対策をボランティアで参加されてる今日、職員も公僕である前に一市民でもある。世情や市民の感情を考えた対応をすべきではないか。

**議員** 当日の手当では一人当たりいくらなのか。

**部長** 対象者は百九十九名で一人平均二万二千二百円となっている。

**議員** 災害が出るか出ないかの状況下での支給には職員も市民と同じレベルの認識を持っていただきたい。



災害時のボランティア活動

## 合併後の人件費及び職員の動きは

**議員** 合併して4年目になり職員も一割位減ったと良くその効果を言われるが人件費の総額はあまり変わっていない。原因は、減少分を嘱託や臨時職員が増加し業務対応をしているからだ。が現況はどうなっているのか。

**総務企画部長** 職員は合併時292名が現在259名で嘱託・臨時職員は128名で、人件費は13億円程度です。

**議員** 業務の3分の1を嘱託・臨時で占める構成の中、

労務管理を見直す事でまだまだ職員を減らすことが可能と思うが。

**市長** 確かに減った分を嘱託・臨時で対応している為、人件費相当はどうかを考えればその事を考えた人事管理が必要だと思ふ

**議員** 指定管理者制度や有能な職員の再任、民間からの積極雇用等で職員に代わる雇用を創造していくべきではないか。

**市長** そういう方向性を検討している事は間違いない。



災害時のボランティア活動

# 防災計画・防災マップの早期見直しを

木原 憲 治 議員

平山 総務企画部長

見直しについては各関係者と検討を行いさらに充実を図っていきたい。



議員 7月の豪雨では、本市でも26日午前、4,046世帯、1万2,514人に「避難勧告」がなされ、午後には、より強い避難を求める「避難指示」が城原川流域の一部地域に出され、実際に約400世帯、約1,120人が公民館などに避難された。

今回の記録的な豪雨により、現時点での防災対策では、対応しきれない、色々な問題点も浮かび上がってきた。そこで、避難体制、救援体制等において、問題はなかったのか。また今回の豪雨を教訓に避難箇所指定問題等、防災マップの再検討による見直しをされるのか。

総務企画部長 救援体制については、自衛隊、消防署、警察からの職員の派遣や実際に消防署のほうで要援護者の搬送等各機関と連携をとり対応した。今後にもさらに連携を強化し万全の体制を構築したい。

議員 今回色々な問題点が指摘されている。

## 1 「避難箇所の指定問題」

神崎小学校講堂の周りは冠水して避難できなかった。中央公民館も地理的に一番低い位置にあり危険ではないか。神崎高校を指定避難場所にできないか。

仁比山小学校体育館に避難者を運んだところ、開設されてなかった。

## 2 「水防資材の備蓄の問題」

千代田地区において土嚢の備蓄がなかった。土嚢の袋に入れる砂の確保がうまくいかなかった。

資材保管場所並びに数量等の把握不足。

## 3 「避難勧告の指示伝達の問題」

各家庭への確実な伝達ができてない。避難経路、場所の周知徹底不足。各地区における確実な連絡網の整備不足。

防災対策は、再度整備していただき、防災マップももう

一度配布していただきたい。

## その他の質問

・第3回全国学力テストの結果が公表されたが過去の結果と大きな変化があったのか。



冠水した避難場所（神崎小学校）

# 城原川の安全性はどうなるのか

山口 義文 議員

**平産業建設部長**

河川整備の必要性を再認識している。



**議員** 7月の大雨災害について、城原川の安全性はどうなるのか。

**平産業建設部長** これまで経験

したことのない水位の上昇によって、城原川の危険性や安全性など、河川整備の必要性を再認識している。治水安全度を高めるケースの議論については、優良農地を遊水地とすると1,31

0億円、堤防を上げる引き堤をすると家屋の補償も含め1,110億円、治水ダムと河川整備で710億円という数字が出されている。

**議員** 税金の無駄遣い、ダムはムダだと言われているが、1,110億と710億では400億の開きがある。ダムの方が税金を400億も少なく使って安全性が保たれるなら、この方が良い。市長の考えは。

**市長** 投資対効果、費用、建設

に要する時間を総合的に判断すると『整備計画』の通りである。馬場川、三本松川、中地江川等

の内水面の効果まで上げられる治水対策をと表明している。

**議員** 今回、上流の県管轄の野越しから越水したが、野越しに関する法律があるのか。

**貞島建設課長** 河川法の中には野越しということの基本的な考えはうたっていない。

**議員** 災害の恐怖を和らげる対策、その対処法は。

**平山総務企画部長** 市においては、毎年春と秋に災害の情報伝達訓練、避難訓練等を行っている。訓練を重ね災害時のパニックを和らげ、予備知識が有る事で恐怖感も和らぐと思う。今後共様々に協議をしながら集落の皆さんが参加する訓練になるよう働きかけを進めたい。

**その他の質問**  
・西郷保育園について



城原川堤防の越水状況（野越し）